

蕪 工 ニュース

県立蕪崎工業高等学校

総務部

第 121 号

2014.09.03

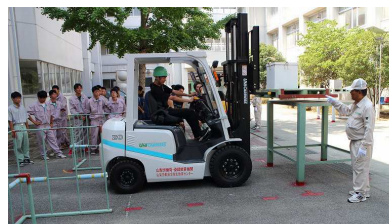
親子ものづくり教室開催
資格取得・ウインドカーコンテスト
電気工事コンテスト県予選
全国大会で活躍レスリング部
全国総合文化祭出場・写真部
親子ものづくり教室開催

8月16日土曜日、13回目を迎える「親子ものづくり教室」が本校実習室にて行われました。電子機械科・システム工学科はゴム動力自動車、電気科はLEDライト、情報技術科は風鈴、環境化学科はオリジナル消しゴム作り、制御工学科はボタン制御ロボットという題材に取り組みました。今年度はお盆期間ということもあり、31組の親子が参加し、いつもは教わる立場の本校生徒も、子ども達の先生役として汗だくになりながら小中学生の指導にあたっていました。なかには夏休みの宿題にと意気込んできた子どももおり、楽しみながら製作していました。親子で一緒にものづくりをして、子ども達の夏休みの思い出になったようです。



夏休みは資格取得で：フォークリフト講習会

この夏休み期間中、本校では多くの生徒が資格取得に挑戦しました。ガス溶接取扱、小規模ボイラ取扱、第2種電気工事士、移動式クレーン、玉かけ、フォークリフト（1t以上）などです。特にフォークリフトの講習（8月1日～12日）においては、100名以上参加したが、8月前半に受講した生徒は、連日35度を超える猛暑に耐え、講習後半（8月10日前後）に参加した生徒は、台風による豪雨の中、全身びしょ濡れになりながら運転技術の習得に努めました。特に3年生は夏休みが終わるとすぐ就職活動に入るが、フォークリフトの講習は、調査書に書くことができる最後の資格なので、いつもより気合いが入っていました。

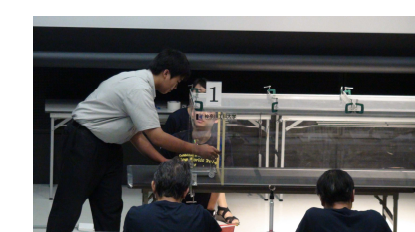


第2種電気工事士実技試験に向けて

本校電気科は、2年次から第2種電気工事士の資格を全員に取得することを目標にしています。今年の筆記試験が6月1日（日）に実施され、3年生70%、2年生80%が合格しました。今年度も他学科の生徒も挑戦し、システム工学科9名、情報技術科4名、制御工学科3名が筆記試験に合格しました。昨年度より合格率が上がり、7月27日（日）の実技試験に向けて、7月4日（金）から放課後及び土日にも休まず課外を行い頑張っています。受験者全員が合格することを祈ります。



ウインドカーコンテスト全国大会に出場



第20回ウインドカーコンテストが8月13日（水）東京都台場にある日本科学未来館で行われました。ウインドカーとは、風のエネルギーを利用して風上に走る自動車のことをいいます。使えるエネルギー源は風だけです。競技用走路は透明な四角いトンネルで、上流側に扇風機が置かれています。スタートラインからゴールまでの距離は3メートル、風速は毎秒3メートル（家庭用扇風機の弱程度）です。今回は、速さを競うレーシング部門と走行中にユニークなパフォーマンスをし、往復するパフォーマンス部門に制御工学科3年生及びロボット工学部の生徒が出場しました。今年例年になくレベルが高い中、見事入賞を果たすことができました。

パフォーマンス部門

ベストデザイン賞3-5 清水凱人（制御工学科）

ユーモア賞3-4

佐藤裕紀（制御工学科）・特別賞3-6 宮坂貴大（制御工学科）

電気工事コンテスト県予選開催

第13回関東甲信越地区電気工事コンテスト山梨県予選が8月10日に本校を会場として開催されました。県内の工業高校3校から7名が参加し、本校からも3名の生徒が参加しました。競技はあらかじめ公表された問題を90分間で900mm×1800mmのベニヤ板の上に正確に、早く綺麗に完成させることを目標に課題に取り組みました。練習期間は、1週間ほどしかとれませんでしたでしたが、見事上位を独占し8月31日に行われる関東大会の出場権を獲得することが出来ました。関東大会では、昨年思うような結果が残せなかった分、今年にかかる期待は大きいのですが、電子機械科の溶接コンテストに追いつけたら、と思っています。なお結果は、優勝3-2小林和磨君(玉穂中出身)、準優勝2-1油井七海さん(高根中出身)、3位2-1名取悠君(韮崎西中出身)でした。また、準優勝した油井さんは制御工学科に所属し、今年の夏に第2種電気工事試験にチャレンジした生徒です。平衡感覚と手際の良さには感心させられました。



全国大会活躍のレスリング部：インターハイ神奈川大会

8月2日～5日に神奈川県横須賀市体育館で行われた全国高校総合体育大会へ参加しました。学校対抗戦一回戦で石川県代表の星稜高校に6対1で勝利、二回戦は北海道代表の根室高校に7対0の快勝、三回戦は岡山県代表の高松農業高校に6対1で勝ち、ベスト8に進出しました。準々決勝となる四回戦では、春の全国選抜大会優勝の茨城県代表霞ヶ浦高校に2対5で惜敗しましたが、春の王者から2勝出来たことは部員達の成長(冬の関東選抜では0-7で敗退)が感じられた試合でした。個人戦へは、55kg級に丸山智也、66kg級に栗原康志郎、74kg級に林雷、84kg級に和智輝、120kg級に藤原亮が出場しましたが、66kg級の三回戦が最高で、残念ながら入賞は出来ませんでした。



全国グレコローマン選手権大会



インターハイに続き17～19日に大阪府堺市金岡公園体育館で行われた全国高校グレコローマン選手権へ50kg級に丸山智也、55kg級に早川匠と矢部和希、60kg級に大石和輝、66kg級に栗原康志郎と下山田周、74kg級に林雷、84kg級に和智輝、96kg級に藤原亮が出場しました。大会2日目に50kg級の丸山が6回戦を全てフォールかテクニカルフォールで勝ち悲願の初優勝を手にしました。丸山は日頃から真面目に取り組んだ練習成果が実った戦いぶりで圧勝続きの優

勝でした。84kg級の和智輝は5回戦を勝ち抜き最終日の決勝へ進出しましたが、残念ながら破れ2位でした。和智は根性勝負となった苦しいスタミナ戦を我慢強く勝ち抜いた決勝進出で日頃の練習の成果が出た試合でした。3年生は、10月の長崎国体が最後の公式戦となります。悔いの残らぬよう練習に取り組み結果につなげてもらいたい。

全国総文祭出場の写真部

7月28日～30日つくば市で行われた第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会に、3年生の宮澤美幸が山梨県代表として参加しました。三日間猛暑で屋外での行事もあり体調管理に気を使いました。夏の高校野球県予選での作品「勝利の瞬間」で応募しましたが、全国からの力作307点の中で残念ながら上位入賞は出来ませんでした。三日間の行事は、開会式から始まり審査発表、講評会、全国写真展鑑賞、交流会、大洗海岸での撮影会、表彰式、演題「HOPE」のハービー山口氏による講演会と目白押しの日程でした。宮澤は「同年代の共通目標を持つ仲間と、作品やカメラを通して交流を持った事は、今後の写真撮影への大きな影響を受ける有意義な時間となりました」と語っていました。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp